

平新報

發行所 平新報社 電話 五二〇

平安會に對し

聲明! 安藤信義 (四) 小乗を捨て、大乘的たらん!!

木田藤次郎氏編著の 過去と現勢石城郡案内出版 石城養蠶獎勵會創立十年記念として

新年川柳募集 川柳題目「新」五、句数各題十句吐

三猿文庫へ (入庫本目録) (+) 内観 九月十二日 後大過無く平凡な地方家系を感えてる。何卒今後

音信交換 全州より 朝鮮全北全州八達町官舎 湯原亮夫

吸入用酸素 純度 99% 釜屋商店 新製品 ヨツト安全剃刀

西村屋薬舗 平町三丁目 (電話四三番) 磐城セメント代理店

# 地方振興と農村救済問題

## 眞の景氣は農村より

地方振興農村救済問題は争得ないのである。既に世に智識の貧弱と見當違ひの観がある。或る時代的流行語となつた觀感人なしとせば、いつまで待たせて救はれるものがある。然も怠慢なく云へ待たせて救はれるもので地方振興農村救済論は風影り他地方に比してまだ一歩は學者、識者、政治家は時を待たぬ。

代的流行語なるが故に之を地方問題は地方の民衆自身なることを覺り、理解と誠と申さばそれまで、政治家論議するが如き態がある。の問題である、自己の問題實とを有する眞の地方民衆教育者も、此處に於て地方の暮枯れ枝に鳴く百舌鳥にを解決せぬばならぬ、然る殊に農民諸君、卿等は何が想問題で、地方農村小學校も似て唯囁り、唯囁りのみに依然として自ら提起せず、故にふりかへり不平を言ふのである。そこに何等の理解自ら濟ふ途を知らず、自家のなれば、何等の誠實を與へる問題を依然「地方局健康に恵まれてゐる事を忘るも見出すことが出来ない。外者の恩恵的救済」に依頼されてならぬ「都會生活者」無價なる喉頭三寸の論議ふやうとするのは何んぞ云に耽つてゐる間に地方農村はグン／＼荒蕪と疲弊の他人の恵んで呉れる衣裳に満の中に巻き込まれて行く包まれて暖を樂しまふことである。この渦巻の中に何といふ御目出度い

# 太陽が見てゐる

其處此處に大きな工場がその骨が皮をかぶつた手足を、林のやうに煙突が立ち、地方民衆は、嚴密な監視の目で、いづれかその煤煙で外に出でぬ彼等の救済を一小遺棄も得、米價も多少騰貴はまつ暗た筋に今か今かと待つてゐる。つたとは申せ申せ太陽は何もかもじつ々しな望みである、最近のう簡単になつたのではと見えてゐる。救済事業たるや吏員に犯罪ない、而して救済事業の如わたり先祖の墓場はごあまたの酒場を繁昌させを行はせる如きもので、こきそう永年續くものにならうなつてしまふことか

の匡救事業のためを受けず、此際地方民衆は、自ら風をならす空中の電線た民衆は少々であり、この義人となり自覺して自ら地主龍の穴を横切る瓦斯管事業のため全國を通じて罪方問題を提起し、考慮し、こゝにわたしらは生きてゐる現象である。人あるなし、一人もあるなしと云ふのではない、自こゝでは人間よりも機械が手をはたしてゐるのだ。引いた意味に於て矢張、ふのである。一人又學者、識者、政治家も卿もあるなし」と云はざるを等の有する地方に關する、いろを

比して「かくなるが故に衣ごうして此等の村々に殖え食住に都會人の華美なる眞の似せんとして失敗するの老人と野良犬とである。農民は農夫らしくそれから醜い女ツツと此の一言につくと思ふので乞食も何處へか行つてしまつた。なごころにはゐられないのだ。何もそれすら欺くものもな

あ、何といふ怖しい世界目はあるけれどももくらの口はあれど嘘のやう耳はあれど嘘者のやう

一念ひたすら鐵を手にしてわれどわが食ふ穀物を作る農夫を

人間にとつて偉大なるものは砲彈ではないそれは鐵の木のやうな腕であることを

地上一切萬物の上に太陽はかがやき農夫をながめてゐる

右長詩は筆者大正六年雑誌「せいねんいはい」を發行中平町稲垣小路聖公會に牧師として居られた故山村芳松氏が同誌に寄書されたものである(眞立)

株式會社株主總會は去月三十日平町大工町の同社内開催。重役四名改選の結果小野晋平、太清左衛門兩氏

平料理組合長に誰が据はるか、平料理屋組合長としての鈴木寅次郎氏は目下世界館經營中であるが過般正式に同組合長に就任せるを以つてその後任であるが組合員四十三名を有する同組合の事をそれが選舉には相當曲折があるだらふと思はれる。

平消防顧問野崎滿藏、猪狩庄平兩氏は今回平消防顧問に囑託された、現在顧問左の如くである。

小檜山警中校長全快警中校長小檜山久作氏は病氣のため諸橋醫院に入院加療中であつたが快方に趣き登校執務しつゝある。

警中教諭消息△名尾嘉作氏(警中校英語科受持教諭)の氏は去月宮城縣古川中學校教頭に榮轉△今徳吉氏(警中校國漢法科受持教諭)の氏は千葉縣木更津中學校教頭に榮轉四日赴任した。

佐藤芳松氏銀行を辭す常警銀行真岡支店勤務中であつた佐藤芳松氏は今回辭任歸家された。

會田少將歡迎會警中第一回卒業海軍少將會田常次氏歸省に際し、警中同窓、小學校同窓、在平警師、在軍海軍有志が去月二十六日午後七時谷口樓に於て歡迎會を開催した。

平製水會社重役改選木村清治社長たる平製水

織田萬次郎 草野喜一 片寄敬太郎 菊田万吉 阿部章

小檜山警中校長全快 警中校長小檜山久作氏は病氣のため諸橋醫院に入院加療中であつたが快方に趣き登校執務しつゝある。

警中教諭消息 △名尾嘉作氏(警中校英語科受持教諭)の氏は去月宮城縣古川中學校教頭に榮轉 △今徳吉氏(警中校國漢法科受持教諭)の氏は千葉縣木更津中學校教頭に榮轉四日赴任した。